

島生まれの
「葉巻」「ラム酒」
「手摘みコーヒー」、
そして絶景スポットが
目押し!

騙されたと思って、行きなさい。
大人のための「しっとりアイランド」

アイランド

カウアイ・シガーのおすすめの吸い方は? 「風のない、ちょっと湿気が感じられるような日に、緑が多い場所でゆっくりと…」とこの葉巻会社を設立したオーナーのレスさん。「ワインやブランデーとあわせるのがよいという人もいるけど、僕は、朝のテラスでいただく、シガーとラテのペアリングが一番。コーヒーは相性が最高だね」。

KAUAI CIGAR COMPANY

カウアイ・シガー・カンパニー

カウアイの地で、

葉タバコ栽培!!

男たちを虜にした



世界地図を広げてみて下さい。ハワイは北緯19度〜22度のあたり。そこから平行に右へ、つまり同じ緯度で東へ辿って行くと、カリブ海に浮かぶ島、キューバやドミニカに辿り着きます。キューバ、ドミニカといえは葉巻の名産地。そこに目をつけたのが、カウアイ・シガー・カンパニーを設立したオーナーのレスさん。20年ほど前コーヒー作りに従事していた頃、もともと好きな葉巻の葉タバコが「キューバ同様よく育つはず」と耳にして、トライ。すると質のいい葉っぱが育ったので「ハマった」のだとか。試行錯誤しつつ完成した葉巻を「コアのワインショップに、置かせてもらった。次の週には完売。こんなにシガ

シガーの葉巻。



A



B



C

Aこの「ハワイアン・ヴィンテージ・シリーズ」は、現在発売中の3ブランドの中では特別に、巻きあげをこの島で行なっているプレミアムもの。1本売りではなく、25本入り\$237。**B**葉の栽培から発酵、加工などすべての工程をカウアイ島で行なっている「グランド・アライ」はこの夏頃の発売開始予定。**C**左上の「アイランドプリンズ」3本ケース入りは\$37ですが、シガーバンドに椰子の木が描かれた「マカレハ」と、赤と金色の「アイランドプリンズ」は1本売りだと\$14。右上の缶入りは、細身のサンプラーが6本入って\$25。これでちょっとお試しを。



シガレット(紙巻きタバコ)のように、刻みタバコを使用するのではなく、乾燥させ発酵させ寝かした葉を巻いていくから「葉巻」。機械巻きのシガーもありますが、ハンドメイドシガーはさらに高級です。こちらの多くの商品は、収穫した葉を発酵させたり巻きあげる熟練職人が多くいるニカラグアに一度輸出し、シガーの形になって戻ってくるのですが、すべてをここで行なうスペシャルな葉巻作りもスタート。そのブランドが「グランド・アライ」というプレミアムシガーです。

DATA カウアイ島

■※商品はハワイ全島にあるスーパーマーケットの「フードランド」や「タイムズ」、「ABCストア」などで購入可能。

「シガーがある」と嗜か広がりビジネスも急成長。今や、ホノルルのスパーやコンビニでも売られるようになりました。葉タバコの種をまいてから商品になるまで「早くても2年半」。プレミアムはさらに寝かせることも。まさにワインのように、熟成に伴う味と芳香を楽しむ嗜好品。大人ならではの悦楽が、この島から広がっています。

読者プレゼントあり！
▼▼▼詳細はP17参照